

このまちの100年

# 「津田沼」

習志野・船橋の内陸側一帯は、江戸期に軍馬育成用の牧場・小金牧の一部となり、明治期には陸軍演習場に。天覧時、明治天皇が『習志野原』と命名したことが地名の由来です。現在の津田沼駅周辺には鉄道連隊が置かれ、戦後は商業が発展しました。



大正7年頃

国立国会図書館蔵

ドイツ人によるオーケストラもあった習志野俘虜収容所



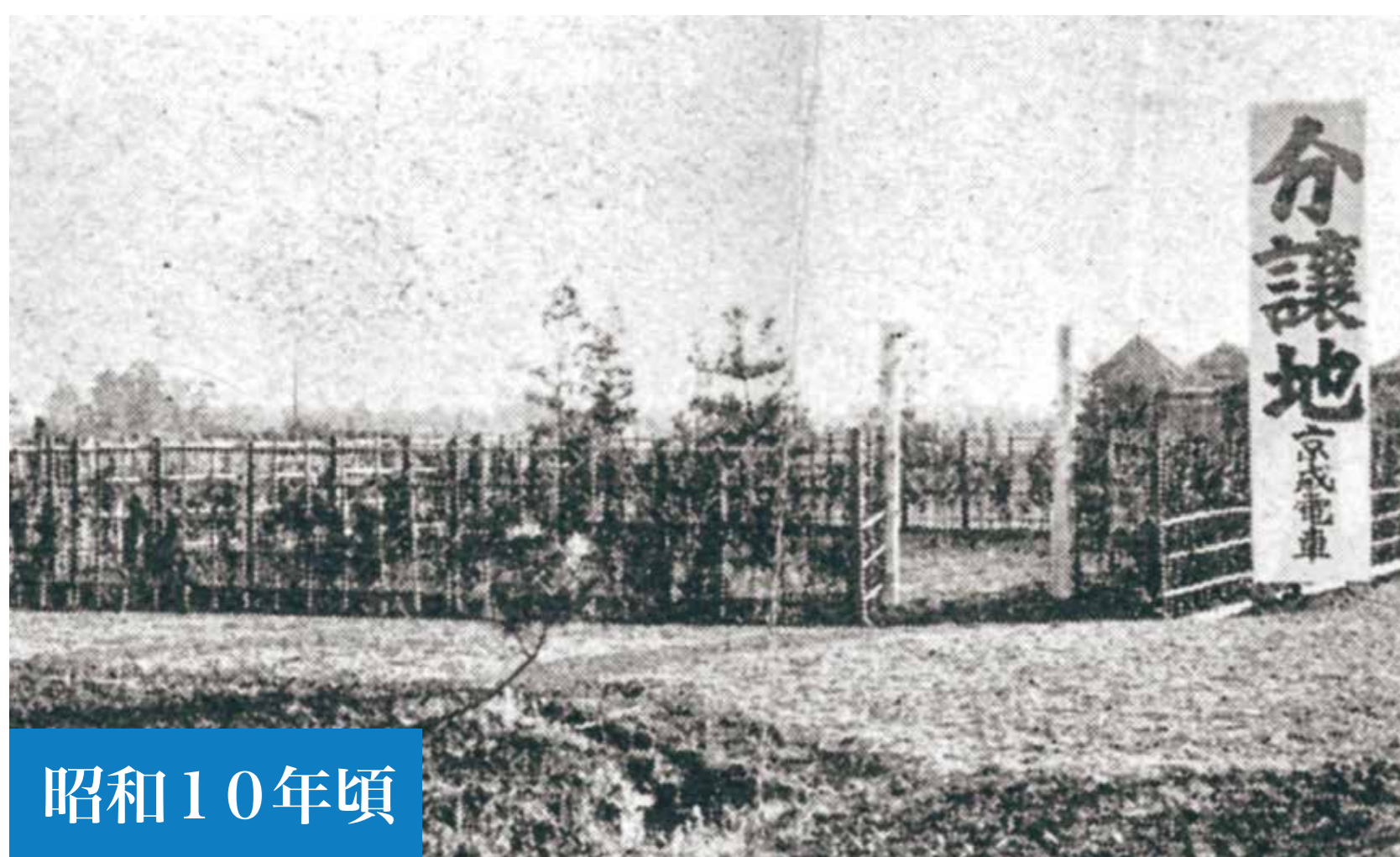
大正期～昭和初期

鉄道第二連隊が普通鉄道を敷設する演習中の様子



昭和初期

鉄道第二連隊の軽便鉄道運転演習の様子



昭和10年頃

『手軽な海浜別荘住宅地』と謳われた谷津分譲地



昭和11年頃

明治天皇の幕舎跡に明治天皇駐蹕之處の碑が建てられた



昭和32年頃

戦後も海水浴や潮干狩りができる海辺の遊園地として人気があった、谷津遊園

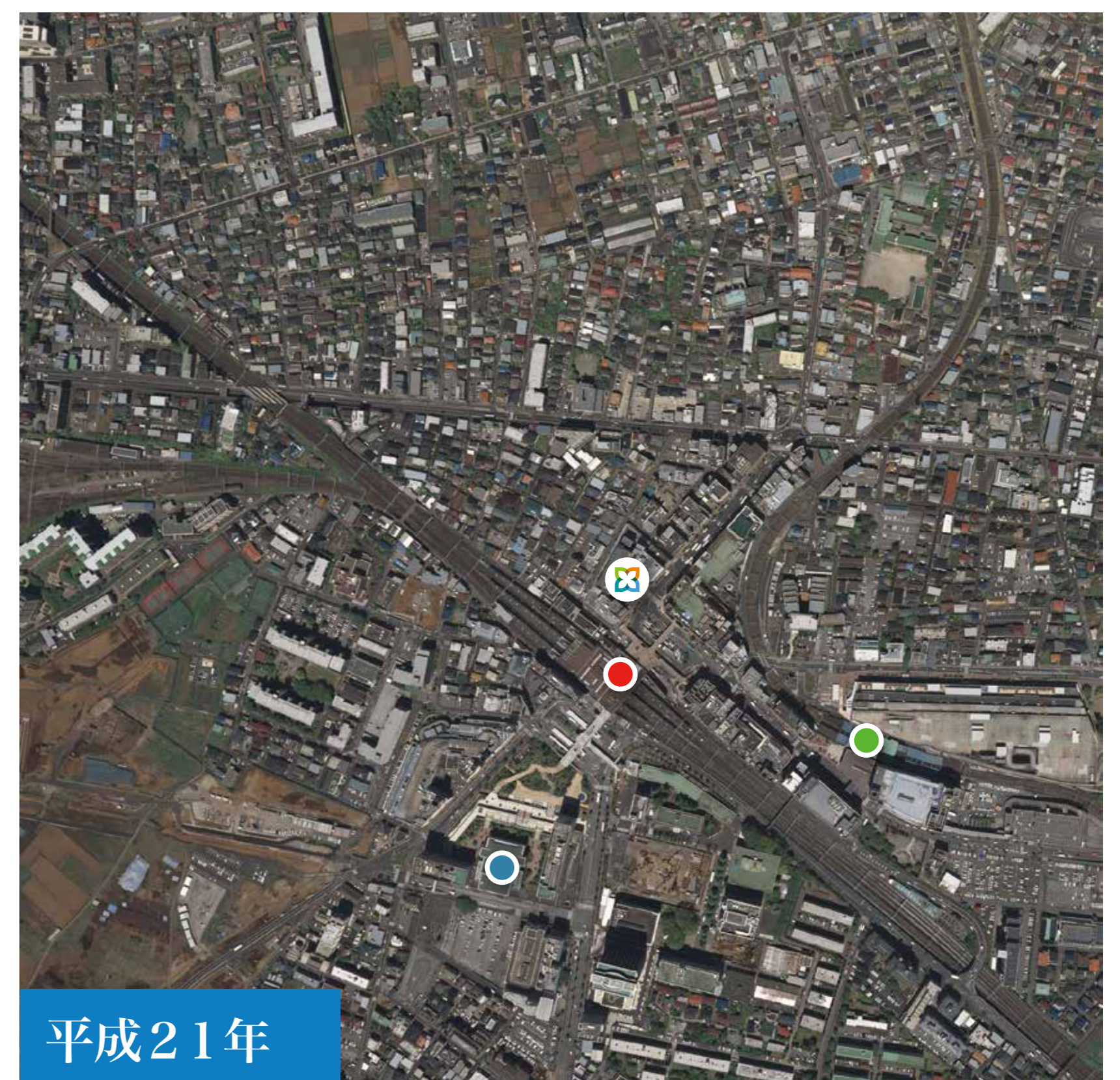
## 上空からみた津田沼エリア



昭和22年



昭和54年



平成21年

: 現在地  
 : 習志野文化ホール : 新津田沼駅 : 津田沼駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ